

科目名	キャリアデザイン2			ナンバリング	CAR141	授業形態	演習
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	金世煥	担当教員	山口、五十嵐、菅野、名取、斐				

授業の概要	本授業の目的は、キャリアデザインに必要な(地域)社会の理解と自分の能力・適性の把握、およびその伸長である。それにより、地域基盤型職業人としての基礎力を修得することができる。授業目的を達成するため、地域課題に関するPBL(プロジェクト(問題)に基づく学修)に参加し、与えられたプロジェクト(問題)にチームで取り組み、最後に成果のプレゼンテーションを行うことでキャリアデザインに必要な地域社会の理解を深める。授業では、与えられた地域課題に対する関連データや現場事情について解説しながら、グループ別にプレゼンテーションを指導する。
到達目標	最終プレゼンテーションは、原則として一般市民等にも公開で実施するので、地域教養学科学生として、一定水準の成果物品質と、プレゼンテーション能力が求められる。 1.キャリアデザインに必要な地域社会の理解と知識を学習することができる。 2.与えられたテーマに対して、自分のアイデアや意見などを発表することができる。 3.グループディスカッション形式で行われるため、調和性やチームワークを理解することができる。
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	各授業のテーマに関わる関連資料やキーワードなどをインターネットや新聞などの媒体を活用し事前に調べておいて、各授業の内容を正確に理解できるようにする。また、グループディスカッションや質問などを通じて、各授業に積極的に参加し、学習成果を高めるようにする。
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	<input type="radio"/> 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	<input type="radio"/> 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	<input type="radio"/> 3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	<input type="radio"/> 4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	<input type="radio"/> 5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①与えられた地域の課題に関する問題点や現状などが説明できる。 ②与えられた地域の課題に対して、関連データや現場事情などを把握するためのフィールドワークを行い、最終成果物として提案書及び企画書の成果資料が製作できる。 ③研究成果として、まとめた企画書及び提案書のプレゼンテーションを行うことができる。	①与えられた地域の課題に対する問題点や現状などを明確に把握し、最終成果物として実際応用できる提案書及び企画書の成果資料が製作できる。 ②説得力ある文書や根拠資料などを活用し、論理的な企画書および提案書の作成ができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○	○				20%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○			30%
最終成果物の内容	○	○	○	○	○		40%
プレゼンテーション					○		10%

課題、評価のフィードバック	講義の後半に、講義内容に関する振り返りを行う。
---------------	-------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	PBLガイダンス (全員)	PBL型授業の概要や今後の流れについて解説する。	
	第2回	地域の現状と課題① (全員)	研究調査に関わる基本知識やプロジェクトの進め方について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第3回	地域の現状と課題② (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第4回	地域の現状と課題③ (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第5回	地域の現状と課題④ (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第6回	地域の現状と課題⑤ (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第7回	地域の現状と課題⑥ (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第8回	地域の現状と課題⑦ (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題について解説する。(各テーマ別に進行)	
	第9回	フィールドワーク① (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題についてフィールドワークを行い、課題解決のための手がかりを探る。(各テーマ別に進行)	
	第10回	フィールドワーク② (全員)	各テーマ別に関連する地域の現状や課題についてフィールドワークを行い、課題解決のための手がかりを探る。(各テーマ別に進行)	
	第11回	地域課題の分析① (全員)	フィールドワークで得られた情報を整理してまとめる。(各テーマ別に進行)	
	第12回	地域課題の分析② (全員)	各テーマ別に議論されている提案書の方向性の修正や精密度を高めるための議論をグループ内で行う。(各テーマ別に進行)	
	第13回	発表練習 (全員)	提案書をプレゼン用として修正・補完し、事前発表練習を行う。(各テーマ別に進行)	
	第14回	発表内容の最終確認とセルフグロースシートの修正・補完 (全員)	発表内容を最終確認し、グループ内で再確認を行う。また、自分の目標設定としてのセルフグロースシートを修正・補完を行う。	
	第15回	成果の発表 (全員)	グループ内で最終発表練習を行う。(各テーマ別に進行)	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方	各テーマ別にグループディスカッションとフィールドワークを中心に行う。			
授業外学習の指示	講義の内容を復習する。不明な点がある場合は各担当教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	与えられた課題に対する関連資料(インターネット情報含む)。
参考URLなど	特になし
その他	フィールドワークとして土・日活動もあり。(担当教員が指導、または同行)。本講義は「キャリアデザイン特講A」と連続する内容もあるため、「キャリアデザイン特講A」を履修することが望ましい。

キャリアデザイン2

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	授業態度	遅刻、退席はなく、居眠りや私語をしていない。積極的に発言や質問をしている。	遅刻、退席はほとんどなく、居眠りや私語はほとんど見られない。発言や質問はそれほど多くない。	遅刻、退席、居眠りや私語が多い。
2	企画書の作成	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的が要約されており、企画内容を裏付ける論拠が整理されている。	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的の要約はされているが、やや曖昧である。	提出がない、もしくは課題の条件（字数、テーマ、体裁など）を満たしていない。
3	グループワーク	よりよい成果に向け、新たな視点を提示するなど、積極的に取り組んでいる。他のメンバーへの働きかけを行い、与えられた以上の役割を果たしている。	グループ内での発言や傾聴の姿勢は見られ、成果に向けて取り組んでいる。与えられた自分の役割を果たしている。	グループ活動に参加していない。または発言をしない、他人の意見を聞かないなど、メンバーとコミュニケーションがとれていない。
4	プレゼンテーション	聴き手を意識した話し方や、アイコンタクトの取り方に工夫が見られる。内容の整理がされており、根拠のある主張ができている。	話し方や、アイコンタクトの取り方を意識している。内容は伝わるが、主張にやや論理性が不足している。	発表ができない。またはずっと原稿を見ているなど、聴き手を意識した話し方になっておらず、話の内容が伝わらない。
5				
6				
7				